

別紙2 富山市斎場再整備事業 公募サウンディング 意見概要

公募サウンディングにおいて参加者から寄せられた意見の概要は次のとおりです。

頂戴したご意見は、今後の事業実施の判断や、募集要項等作成の参考とさせていただきますが、すべての意見を反映できるわけではありませんのでご了承ください。

また、サウンディング参加者からの質問に対する本市の回答、参加者からの意見、及びサウンディングの場での市・参加者の発言内容は、今後の本事業を拘束するものではありません。

No.	タイトル	意見内容
1	概算事業費	基本計画に示された概算事業費の見込みは、少ないのではないかと。最近公募された事例では富山市斎場と同規模でもう少し多かったように思う。
2	概算事業費	アスベストは精算払い方式にした方がいいと思う。アスベストは、除去費用や期間がかかるので、多めに安全を見て見積もったところと、このくらいだろうと見積もったところとの価格差が大きくなる。この見積りの甘さで優劣をつける必要はないと思う。
3	概算事業費	ボーリングデータからは杭はないものと考えて間違いないか確認して欲しい。撤去、解体時に杭がある場合、事業費が嵩む要因となる。
4	概算事業費	修繕費は平準化して支払うのではなく、修繕費のみ、計画年度の実費分を請求するようにして欲しい。修繕費用の支払い方法が平準化されていると、修繕が重なった際には修繕費用が嵩むが事業者負担で支出せねばならない。他方で、修繕がないときには利益が出てしまい、税金の負担がある。計画修繕で年度払いとする方が良いのではないかと。
5	概算事業費	維持管理費については提供するサービスのレベルによる。富山市ではまず葬儀をしてから火葬、お昼を挟んだニーズが多いようで昼時に火葬が集中しがちと理解している。ニーズに合った形で集中に対応するとすると、人が多く必要になるのではないかと考える。
6	概算事業費	今後、他の斎場(北部斎場)の建替え等が発生した場合は、富山市斎場にその分の火葬件数が流れ込んでくることも想定される。そういった場合に増大した維持管理費等は市が負担することも考えて欲しい。
7	概算事業費	維持管理運営費は、現段階では算出できない。告別・収骨室の数や待合室の数や配置によって金額が変わる。
8	大規模修繕	大規模修繕の範囲を明確化して欲しい。金額や内容などで線を引くことはできないか検討して欲しい。
9	大規模修繕	大規模修繕については、全面的なものは大規模になるが、例えば工期を分けた場合には通常修繕となるのか、大規模修繕になるのかといった論点も有る。実際に発生してからどちらに振り分けるのか決めることは困難なので、何等かの基準を示してもらいたい。
10	大規模修繕	大規模修繕と計画修繕については、どこまでを計画修繕で見たいかを要求水準書に明記する方が、提案の公平性につながると考える。
11	予約システム	予約システムは、クラウド型のほうが初期費用、更新費用が削減できる。
12	予約システム	予約システムはクラウド型が安い。クラウド型を使わない自治体もあるが、その場合はコストアップとなる。
13	予約システム	予約システムのハード(サーバー)とソフトが別々の場所にあると責任の所在が不明確になるため、一緒においておくことがよいのでは。
14	予約システム	予約システムについては、もう少し条件を明確にして欲しい。セキュリティ条件、サーバー要件、パンフレット等を作成する場合にはページ数、部数など、明確にして欲しい。積算に影響する。

別紙2 富山市斎場再整備事業 公募サウンディング 意見概要

公募サウンディングにおいて参加者から寄せられた意見の概要は次のとおりです。

頂戴したご意見は、今後の事業実施の判断や、募集要項等作成の参考とさせていただきますが、すべての意見を反映できるわけではありませんのでご了承ください。

また、サウンディング参加者からの質問に対する本市の回答、参加者からの意見、及びサウンディングの場での市・参加者の発言内容は、今後の本事業を拘束するものではありません。

No.	タイトル	意見内容
15	予約システム	予約システムはプロトタイプのものを入れると安価に導入できる。様式がプロトタイプのもののカスタマイズで対応可能かどうかでコストが大きく変わる。
16	リスク分担	予約システムは、ネットワークが止まった場合等の責任の所在についても考える必要がある。
17	リスク分担	市と北陸電力と事業者で協議を行い、合意の上で計画通りの工事を行っていても、何らかの事故が発生し導水管に損害が発生することが考えられる。そのような場合に事業者がリスク負担することになるのか懸念する。
18	リスク分担	北陸電力の借地部分について、現在は無償で借りているとのことだが、北陸電力が仮に事業期間中に貸さないとなり、運営開始後に借地関係が終了するリスクがあるのではないかと懸念する。
19	リスク分担	自分たちが整備していない施設や設備によって、何かが発生した際のリスク負担等を懸念する。例えば、自分たちが整備していない柵が倒れてけがが発生した場合など。
20	リスク分担	祭壇等を壊した場合やけがのときの責任リスクの考え方を懸念する。
21	工事スケジュール	工事スケジュールは全体にタイトだが不可能ではない。敷地が狭いため、本来ならば新斎場供用開始までに3年間くらい欲しい。
22	工事スケジュール	会葬者に配慮することは問題ないが、工事について、炉前に会葬者がいる場合には工事をしてはいけないといった制限はつけないで欲しい。工事自体を止めることはできない。防音に関しては、防音シートやパネルを設置することで対応できる。振動は発生するが基礎を組み立てる際に、限定的に発生するものである。
23	工事スケジュール	工期が短いと厳しい。現在の期間であればできると思う。ただし、工事の作業時間を限定しないで欲しい。例えば告別のときに防音厳守で絶対に工事してはならないとなると厳しい。防音シート等対応はするが、音は少なからずするものであり、利用者の方にもご理解いただく必要がある。作業時間は限定しないでほしい。
24	工事スケジュール	スケジュールはほぼ妥当であると考えている。仮設に関しては、設計期間中に着手できるようにしてもらえると、本体工事にスムーズに移行できるのでなお良い。解体期間は7ヶ月とのことであるが、アスベスト等の調査を行っていないため懸念はあるが、通常では問題ない。
25	工事スケジュール	スケジュールは若干タイトであると思うが、これでやれというのであればできない相談ではない。北側駐車場を設計協議期間に前倒して着工する許可を出してくれるなど柔軟に対応していただければ、工夫の余地がある。
26	自主事業の可能性	自主事業として成立するようなものはない。独立採算で実施可能なのは、自動販売機程度である。
27	自主事業の可能性	自主事業の可能性はほとんどない。人が滞留しなければ稼ぐことは難しい。火葬件数も比較的多くないので、利益がでるものは難しいと考えている。独立採算はここでは難しい。
28	自主事業の可能性	自主事業に関して、売店業務や喫茶の収益性は低いと思う。若干の物品販売程度を窓口で実施するくらいと考える。

別紙2 富山市斎場再整備事業 公募サウンディング 意見概要

公募サウンディングにおいて参加者から寄せられた意見の概要は次のとおりです。

頂戴したご意見は、今後の事業実施の判断や、募集要項等作成の参考とさせていただきますが、すべての意見を反映できるわけではありませんのでご了承ください。

また、サウンディング参加者からの質問に対する本市の回答、参加者からの意見、及びサウンディングの場での市・参加者の発言内容は、今後の本事業を拘束するものではありません。

No.	タイトル	意見内容
29	自主事業の可能性	別の斎場ではコーヒー等を出しているところもあるが、自販機で十分である。軽食等についても、ロスが発生するので、採算が合わない。
30	今後公表が必要な情報等について	住民の避難所とするという点について、火葬場であり、長期の避難生活をする場所としては適切ではないと考える。避難所として1か月も生活可能ということであれば、上水、汚水、電気対応、備蓄、非常用発電機などが必要である。避難生活対応ということであれば、その人数など提案側で積算できる一定条件を示して欲しい。
31	今後公表が必要な情報等について	環境影響評価や地質調査など、費用や期間の幅の大きいものについては、どのようなものを前提として想定して、費用を積んでいるかの情報が欲しい。
32	今後公表が必要な情報等について	高低差を示す資料を早く開示して欲しい。
33	今後公表が必要な情報等について	積算や、解体設計をすれば、詳細なインフラ図面が必要。
34	今後公表が必要な情報等について	新斎場で想定する火葬件数が分かれば維持管理費の積算が明確になる。富山市斎場についての想定火葬件数を開示して欲しい。
35	その他事業参画にあたり必要な条件	価格評価の対象は、光熱水費を除いて欲しい。最終的に市が負担することになる費用であるため、低く見積もって入札するということがある。なお、参考として提案することは可能。
36	その他事業参画にあたり必要な条件	参加要件で地域要件を厳しくされると参画しにくい。地元企業を協力企業にすることを必須とする条件や、一定割合以上を地元が発注することを要件とすることはやめて欲しい。
37	基本計画	基本計画の図面では、エントランスが短いのではないかと。霊柩車が、お客様を乗せて再び式場に帰る習慣があるので、エントランスが短いと、(待ち時間があるために)こうした車で混雑することとなる。
38	要求水準書(案)	セキュリティを、建物に付けるのか、敷地にかけるのか、要求水準で示して欲しい。建物で考える方が、コストは低くて済む。
39	要求水準書(案)	待合室は3室以上とあるが、少ないのではないかと。
40	要求水準書(案)	備蓄については、3日間という記載と、24時間対応、という記載がある。1日2回11炉だと、22件、その3日間ということであれば、66件分。24時間対応の3日間となると、11炉を24時間稼働させることとなり膨大な処理量となり、備蓄量も増大する。災害時について、災害発生時に動いている火葬を終了させることが第一、次に、予定されていた(予約の入っていた)ご遺体の火葬、その次に災害発生で処理しなければならなくなったご遺体についてどうするかが出てくる。どのあたりを想定しているのか、お考えをお聞きたい。24時間対応の設備となると、炉や集じん機なども全く異なる炉が必要となってくる。このあたりを明確にして欲しい。
41	要求水準書(案)	要求水準書P32、33の電気・計装設備については、各社ごとのやり方があるので適宜内容を削除・追加したい。

別紙2 富山市斎場再整備事業 公募サウンディング 意見概要

公募サウンディングにおいて参加者から寄せられた意見の概要は次のとおりです。

頂戴したご意見は、今後の事業実施の判断や、募集要項等作成の参考とさせていただきますが、すべての意見を反映できるわけではありませんのでご了承ください。

また、サウンディング参加者からの質問に対する本市の回答、参加者からの意見、及びサウンディングの場での市・参加者の発言内容は、今後の本事業を拘束するものではありません。

No.	タイトル	意見内容
42	要求水準書(案)	収骨トレイの必要性を明確化して欲しい。
43	要求水準書(案)	解体設計や監理を求めるかどうかは、要求水準書に示して欲しい。
44	要求水準書(案)	要求水準書p46「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」については、設計についても、この法律に基づく必要があるのか検討して欲しい。
45	要求水準書(案)	20年後の引渡し時の基準を明確にしてもらう方が火葬炉の設計をしやすい。たとえば、トータルな寿命や、20年度を超えた後に火葬数のピークが来るので、ピークを今回の整備で越せるようなレベルの炉にして欲しいなど。
46	要求水準書(案)	自由度をあげればあげるほど安く作れるが、レベル等を明記する方がよいと思う。
47	要求水準書(案)	火葬炉は熱交換器方式と空気冷却方式がある。どちらを求めるのか、ランニングコストや大規模修繕として市負担にする内容など、総合的な判断が重要である。
48	公募スケジュール	競争的対話のように要求水準の修正を提案できる場や、VE提案ができるようなタイミングや提案項目があるとよい。
49	公募スケジュール	提案書提出までの期間が短いため配慮して欲しい。
50	公募スケジュール	募集要項の公表を早めることを検討して欲しい。すべての条件が整ってから検討を開始するとすると提案期間が短い。質問回答もすぐいただけるならよいが、結局そこに2週間～3週間と時間がかかると検討できない。例えば一気に回答するのではなく、設計に係る部分等は先に回答してもらうなど工夫してもらいたい。設計に係る質問が後々回答されると困る。募集要項で参加表明に係る質問は早めに回答してもらいたい。
51	公募スケジュール	自主事業の提案の際、事業収支について、数珠がどのくらい売れるか等の詳細まで入れ込まなければとするとそこにける労力が大きいので配慮して欲しい。影響が少ないのにけるコストが大きくなることを懸念。